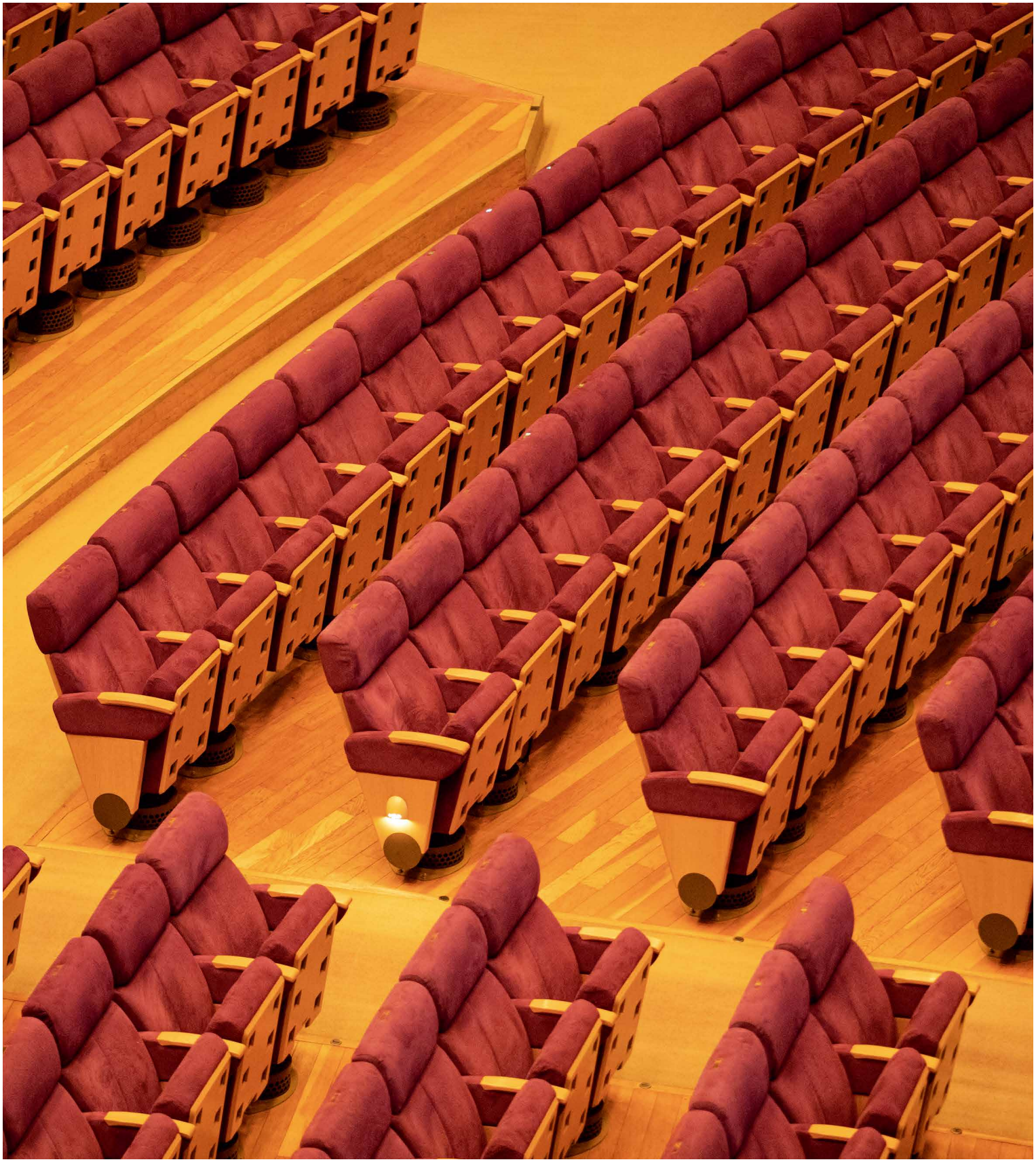
Mite Mite

「人と、街と、劇場をつなぐ。」 オーバード・ホール情報誌

2021-spring
VOL. 68

開館25周年

AUBADE HALL



AUBADE HALL 25th Anniversary

2021–2022 LINE UP

2021年度 富山市民文化事業団 主催公演ラインナップ

Ⓐ
5/29 SAT
弧の会 × 若獅子会

Ⓑ
6/12 SAT・**13** SUN
ミュージカル
「ブロードウェイと銃弾」

6月～2022年3月（全6回予定）
市民のためのランチタイム
ジョイフル コンサート
会場：富山市民プラザ

Ⓒ
7/4 SUN
INFINITY
DANCING TRANSFORMATION

7月開催予定
第27回 オーバード・ホール
劇場ツアー

7月～11月開催予定
AUBADE HALL Presents
ワークショップ「WE♡MUSICAL」2021
会場：富山市民芸術創造センター

Ⓓ
8/16 MON
AUBADE 小劇場 I
めにみえない みみにしたい

Ⓔ
8/17 TUE・**18** WED
AUBADE 小劇場 2
ヒャクマンベン＋マリコウジ

8月～12月 週末（全10回予定）
オーバード・ホール アウトリーチ企画
ウィークエンド・コンサート 2021
会場：市内各地区

Ⓕ
9/8 WED
宝塚歌劇 花組 富山公演

9/18 SAT・**11/14** SUN
桐朋アカデミー・オーケストラ
特別演奏会

Ⓖ
10/16 SAT・**11/7** SUN・**12/5** SUN
（全3回）
AUBADE HALL Presents 音楽入門講座
「ピアノの巨人たちの肖像」
会場：富山市民プラザ アンサンブルホール

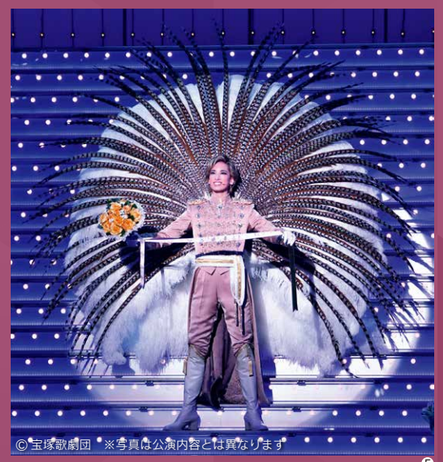
Ⓐ

Ⓑ

Ⓒ

Ⓓ

Ⓔ



Ⓕ

Ⓗ

Ⓖ

Ⓘ

Ⓙ

Ⓛ

Ⓚ

Ⓝ

Ⓜ

Ⓞ

Ⓗ
11/3 WED
スペイン国立バレエ団
2021 日本公演

Ⓘ
11/6 SAT
アンドレア・バッティストーニ指揮
東京フィルハーモニー交響楽団

11/6 SAT・**7** SUN
トヤマ・パフォーミングアーツ・
フェスティバル 2021
会場：富山市民芸術創造センター

Ⓙ
12/26 SUN
第九交響曲 “歓喜の夕べ” 2021

〈2022年〉
1/7 FRI
ニューイヤーコンサート 2022 プレ企画
音楽入門特別講座
「ショパンコンクール、その頂に挑む者たち」

Ⓚ
1/28 FRI
ニューイヤーコンサート 2022
第18回 ショパン国際ピアノ・コンクール
入賞者ガラ・コンサート

1月～2月開催予定
第32回 富山市美術作家連合会展
会場：富山市民プラザ

Ⓛ
2/12 SAT
佐渡裕指揮
シエナ・ウインド・オーケストラ

Ⓜ
2/20 SUN
billboard classics festival 2022
in TOYAMA

2月開催予定
第18回 オーバード・ホール
ベーゼンドルファーピアノ体験

Ⓝ
3/26 SAT・**27** SUN
楽市楽座 アートショーケース

Ⓞ
AUBADE HALL Presents
プラネライブ
会場：富山市科学博物館 プラネタリウム
※開催日は決定次第お知らせします。

※会場名の記載がない会場は、全てオーバード・ホールです。

※情報は2021年3月31日現在のものです。このほかにも後日発表となる公演がございます。
なお、上演に際しては新型コロナウイルス感染対策を徹底いたします。感染状況によっては公演の開催に変更が生じる場合がございます。詳細・最新情報はオーバード・ホール公式 HP をご確認ください。

弧の会 市山松扇インタビュー

「自分たちはお客様の前で踊れてこその存在」。
日本舞踊家集団「弧の会」の代表を務める市山松扇（しょうせん）さんは、
コロナ禍による中止・延期の時を経て、久しぶりに舞台に立った際に改めて感じたという。
松扇さんは、日本舞踊東京市山流の家元。
その肩書きから、雲の上の存在というイメージを抱いていましたが、
終始にこやかに、ほがらかにインタビューに答えてくださいました。
ぐんと日本舞踊が身近に感じられるお話をお楽しみください。

オーバード・ホール開館25周年特別記念公演

日本舞踊家集団 **弧の会** KO NO KAI × 邦楽囃子方集団 **若獅子会** WAKAZISHIKAI

紋付袴で変幻自在！

――1998年に「弧の会」を結成された経緯をお聞かせください。

時代の流れとともに、皆さんと日本舞踊との距離が変わってきました。多様な文化や娯楽が増えるにつれ、稽古するにも着物を着なければいけないし、敷居が高く手間のかかる面倒なものというイメージが定着していったのだと思います。

日本には「ひと手間」という言葉があります。食卓にきれいな花が飾られていたら、心にゆとりが生まれますよね。その余裕が、風情とか「わび」「さび」とか、日本人ならではの感性を育むと思うんです。手間を惜しんだり、伝統文化を置き去りにするのではなく、先人から引き継いだ日本舞踊を次の世代につなげるにはどうしたらいいだろうかと思ったのが、立ち上げたきっかけですね。「弧の会」は、7つの流派の日本舞踊家が集まったユニットですが、ひとりではできないことでも、流派を超えて力を合わせれば変えていけるんじゃないかなと思ったんです。恰好つけて言えば「使命感」ですかね。

――流派が異なると、何が違うのでしょうか？

有名な演目「藤娘」を例にお話ししますと、曲、歌詞、ストーリーは同じでも、流派によって作品の解釈が違うので、振付が異なってきます。「あちらは優雅な踊り」「こちらは表現が大胆」というふうに、まったくの別物になるんですね。昔は「他の流派は観るな」という時代がありましたが、今はそういう考えを取り払って、お互いに切磋琢磨できる関係性を築けるようになりました。ただ、一人ひとり流派を背負っているので、着物の背中の紋も異なります。

――ということは、流派の違う舞踊家が集まって、一つの作品を創るのは大変じゃないですか？

日本舞踊は基本的に、振付師が演出や構成、照明や小道具プランなどを担います。「弧の会」でもみんなですべてを考えていますが、一国一城の主の集まりですから、もう大変ですよ。わずか30秒のシーンの振りにも意見がメンバー12人分も出るので、喧嘩ですよね（笑）。夜中に集まって、時には朝まで創作することもあるんです。それでも長い時間をかけて議論し、稽古をすれば、最終的には一人ではできなかったものが出来上がります。これが、私たちが集まっている意味であり、強みでしょう。

――作品を創る際にこだわっていることがあれば教えてください。

私たちは、身体のみで感情を表現します。海外で言葉が通じない時にジェスチャーで伝えようとしますよね。その身振り手振りをより美しく、さらにその心を伝えられるように訓練したものが踊り。だから、日本舞踊は世界共通言語なんです。また、紋付袴で踊るのは、演じる役柄が敵から味方へ突然変わったり、時には山や波、犬や猫などの動物を演じることがあるからです。一つの役柄に合わせた衣装を着ると、最初から最後までその役でしかないんですよ。変幻自在のユニフォームである紋付袴を身につけることで、お客様の想像力をかき立て、客席とのキャッチボールを生み出しているんです。時々「みんな手の位置がバラバラで振付が揃ってない」と言われることがありますが、それはあえて振りを揃えていないから。

流派を超えた、古典の革命者たち。

バレエ群舞とは違い、流派の良さを出してこその自分だからです。

現代の人たちに受け入れられるスピード感も大事にしていますね。ひと昔前はお客様に踊りに関する素養がないと伝わらないことがありましたが、私たちは誰が観ても楽しめるよう「現代との接点」を日々試行錯誤しています。「かっこよかった」「面白かった」など、何か一つを心に持って帰っていただけるものにしたいですね。

――代表作「御柱祭（おんばしら）」を初めて観たときは、あまりの斬新さに驚きました。

初演ではスタンディングオベーションとアンコールが起こったんです。日本舞踊界ではとても珍しいことだったので、僕たちは受け入れられたのかなと思いました。ただ、舞台上で側転したり、「ウォー」と叫んだりと、いろいろな禁忌をしていたので、先生方からは「行儀が悪い」と言われたこともあったんです。迷いましたが、継承には創造が必要で、約束事を「破る」チャレンジも必要だと思い、お客様の反応を見ながら「いっちゃえ！」と挑み続けました。認知されたと実感したのは、日本舞踊協会の本公演や、国立劇場主催の自主公演にお声をかけていただけたとき。以来、全国各地からたくさんの上演依頼をいただけるようになり、「御柱祭」はこれまでに通算60回以上踊っています。

――本邦初公開となる新作「火牛（かぎゅう）」の見どころを教えてください。

「火牛」は、「鵯越（ひよどりご）えの逆落とし」や「桶狭間の戦い」と並ぶ、非常に有名な源平合戦の物語です。オーバード・ホールから依頼を受け、五箇山文化の「麦屋節」を加えるなど、富山を詰め込んだ作品を創り、一年熟成させました。音楽は若獅子会の皆さんに作っていただいたりと、すべてが新しい中で、日本に古くからあるドラマを演じます。何が起こるか分からない生の迫力、振動、呼吸を感じていただきたいですね。三面半舞台機構を生かしたスペクタクルな演出もご期待ください。

【弧の会】1998年、12名の男性舞踊家が流派を超えて結成したユニット。紋付袴の素踊りを基本に、数々の新作舞踊を発表する傍ら、子どもたちを対象としたワークショップを開催するなど、精力的に活動している。2000年度舞踊批評家協会賞新人賞受賞、2008年度 文化庁芸術祭賞優秀賞受賞。
【若獅子会】2006年、9名の若手邦楽囃子方が流派を超えて結成した集団。弧の会とのコラボレーションや学校での公演など、邦楽囃子の新たな可能性に挑み続けている。2016年 中島勝祐創作賞受賞、2017年 日本文化藝術財団より「創造する伝統賞」を受賞。

公演情報

開館25周年特別記念公演
弧の会 × 若獅子会

◆ 日時：2021年5月29日（土）15:00開演
◆ 会場：オーバード・ホール
◆ 演目：「若獅子」、「御柱祭」、囃子組曲「鷹と獅子」、創作囃子曲「火牛」
◆ チケット：［全席指定・税込］一般：4,000円　U-25：1,000円
※U-25：鑑賞時25 歳以下対象。ご入場の際、身分証の提示が必要です。
※未就学児入場不可。
◆ プレイガイド：アスネットカウンター
★チケットのお求めはP11「チケット購入方法」をご覧ください。
※新型コロナウイルス感染対策を徹底して上演します。ご来場前にはオーバード・ホール公式HPで最新情報をご確認ください。

オーバード・ホール開館25周年特別記念公演

INFINITY
DANCING TRANSFORMATION

構成・演出
草刈民代 インタビュー

撮影：新井秀幸

きっかけは、1本の動画。

今年1月。東京・渋谷のオーチャードホールで、「INFINITY」と題されたダンス公演が行われた。2度目の緊急事態宣言下という事もあり、劇場も席を空けて着席せざるを得ない状況だったが、それでも生の舞台、そしてダンサー達の躍動する肉体を渇望する人々の熱気が客席から湧き上がっていた。

この日、舞台に立ったのはバレエ、コンテンポラリー、タップダンス、舞踏といった様々なダンスで自己表現を試みるダンサー達。それも我が国を代表するダンサーであり、かつ振付家だ。そんな彼らが、1部はそれぞれのフィールドのダンスを、そして2部ではこれまで滅多に見ることがなかった様々なスタイルのダンサー達がコラボレーションした作品を披露してくれた。

この公演、きっかけは新型コロナ感染症によって社会全体が停滞していた昨年5月にYouTubeにアップされた1つの動画だった。動画の発案者は草刈民代。日本を代表するバレエダンサーから10年ほど前に女優へ転身。今ではテレビドラマやミュージカルなどの舞台で活躍している。そんな草刈が中心となった動画「#Chainof8 Dancers creation during corona times in Japan」は、フィリップ・グラスの音楽（演奏：オフリス・ギター・カルテット）をバックに、草刈をはじめとして中村恩恵、上野水香、菅原小春、熊谷和徳、辻本知彦、平原慎太郎、麿赤兒という8人のダンサー達が、それぞれの部屋やベランダなどにスマートフォンやカメラを置き、まるで表現のリレーのように踊り継いでいくものだ。ダンスに詳しい人ならこのラインナップを見ただけで心震えることだろう（まだ見ていない人は是非ご覧頂きたい）。

この動画を作ったきっかけを、草刈はこう語っている。

「自粛期間中にネット上にアップロードされているダンス関連の動画を色々見ていたんです。その中で多いのは自分の踊りを収録したもので、ダンサーの表現ではなく、役者さんや歌手、スポーツ選手の踊り。ダンサーの『踊り』では無いんです。私が踊っていた頃からダンサーを取り巻く状況がかなり変わってきたことに気づき、もしかしたら『踊り』の表現がなくなってしまうのでは、という危機感を覚えました。でも人々が魅せられる踊りを創っている人たちは明らかにいるんです。そこで彼らの存在をアピールしたいという気持ちが生まれたんです」

そうした気持ちをまずコンテンポラリーダンサーの平原慎太郎に話したという。「平原君に話したら『やれることならやりたいです』と。そして『草刈さんが言い出せばみんなやりますよ』とも言ってくれました。でもバレエだけでは訴求力に欠ける気がして、ダンス全体で捉えた方が良いと考え、彼と相談してメンバーを決めていきました」4分ほどの動画で踊るメンバーはこうして集められた。

「菅原小春さんは前から注目していて、彼女のようなストリートダンス系の表現力は特別ですね。辻本君も彼がまだ若い頃にローラン・プティの作品を牧阿佐美バレエ団で踊ったことがあって知っていたんです。タップの熊谷さんには私が声をかけましたが、彼がものすごく良いダンサーだと知っていたのは平原君でした。私はダンサーを引退してからはあまり色々な踊りを観ていなかったので、平原君から聞くまで知らなかった。でもYouTubeにあった動画を見たら凄かったので連絡を取りました」

外出がかなわず活動ができない中で、思いがけずあぶり出された現実。それに突き動かされるように、草刈と7人のダンサー達は動画の中で躍動した。部屋やベランダといった充分とは言えない空間は、動き出した瞬間、オーラのように溢れる表現で埋め尽くされたのだった。

動画の話題は口コミで拡がり、あちらこちらで高い評価が聞こえるようになった。その動きを受けるようにして冒頭でご紹介したオーチャードホールでの公演へとつながっていくのだった。「YouTubeで発表後3週間くらい経ってから、動画をもとに公演しませんかという話がありました。動画を作った時点では、公演なんて考えもしていなかったんです」

公演は、動画とはメンバーが一部変更になったものの、次々に登場するダンサー達は、様々なスタイルで、しかも全身全霊を込めた表現で観客を圧倒した。

草刈民代：Tamiyo Kusakari
73年小林紀子バレエアカデミーにてバレエを始め、78年橋バレエ学校入学。81年から牧阿佐美バレエ団に参加。87年「白鳥の湖」オデット・オディールの初役を務め、以降バレエ団の主要バレリーナとして活躍。レニングラード国立バレエには97年から09年までゲストアーティストとして日本国内や本拠地（サンクトペテルブルク・ロシア）で多くの公演を共にする。09年4月「Esprit～ローラン・プティの世界」をプロデュース。国内11都市、14公演を行いバレリーナとしての幕を閉じる。2021年1月INFINITY公演にて約12年ぶりに本格的なダンス公演に出演、構成・演出も務める。

撮影：新井秀幸

さらにパワーアップして、オーバード・ホールへ。

そんな公演が今年開館25 周年を迎えるオーバード・ホールにやってくる。「INFINITY DANCING TRANSFORMATION」と題された富山公演だが、実は東京公演をそのまま持ってくるわけではなく、出演者や演目に変更が加わり、節目の記念にふさわしいものとなる。たとえば昨今のダンス界で一番の注目株として知られ、テレビ番組やCMにも登場している菅原小春。ドイツやハンガリーのバレエ団で踊り、帰国後はK バレエカンパニーのゲスト・プリンシパルとして活躍、ダンスマガジン誌のダンサー・ベストテンにおいて3 年連続で1位に輝く中村祥子が参加する。草刈自身も注目の振付家・ダンサーである森優貴の振付による作品を初演するという。そういった意味で大きな期待が持てる。

「森さんには新たな振付をお願いしていまして、それを二人で踊る予定です。東京公演ではなかった顔ぶれがオーバード・ホールで実現します」

オーバード・ホールでは、2006年レニングラード国立バレエ（現、ミハイロフスキー劇場バレエ）公演のゲストとして踊ったことがあるという草刈。富山は美味しいものが多く、それも楽しみだという彼女に、富山の観客に向けてのメッセージを訊いてみた。

「バレエと舞踏のダンサーが、同じ曲を一緒に踊るというのは今までに無かったと好評を頂きました。それぞれのダンサーも、しっかり自分たちの世界観を表現しつつ、全員の力が集まって質の高い作品をご覧頂ける富山公演になることを私達も楽しみにしています」

渡部晋也（ライター&舞台写真家）

出演

草刈民代　中村祥子　菅原小春　森優貴　熊谷和徳
辻本知彦　平原慎太郎　遅沢佑介　石井則仁　永井直也

ぜひ、動画もご覧ください！

★「INFINITY」東京公演ダイジェスト版

★「INFINITY」公演の原型となった#Chainof8

公演情報

開館25周年特別記念公演
INFINITY DANCING TRANSFORMATION

◆ 日時：2021年7月4日（日）15:00開演
◆ 会場：オーバード・ホール
◆ チケット：［全席指定・税込］
S席：8,000円　A席：6,000円　B席：4,000円　U-25：2,000円
※U-25：鑑賞時25歳以下対象。公演当日の空席よりお席をご用意します。※未就学児入場不可。
◆ チケット発売日：アスネット会員先行：4月18日（日）のみ
一般発売：4月25日（日）～
◆ プレイガイド：アスネットカウンター
★チケットのお求めはP11「チケット購入方法」をご覧ください。
※やむを得ない理由により、出演者等変更の可能性がございます。予めご了承ください。
※新型コロナウイルス感染対策を徹底して上演します。ご来場前にはオーバード・ホール公式HPで最新情報をご確認ください。

AUBADE HALL

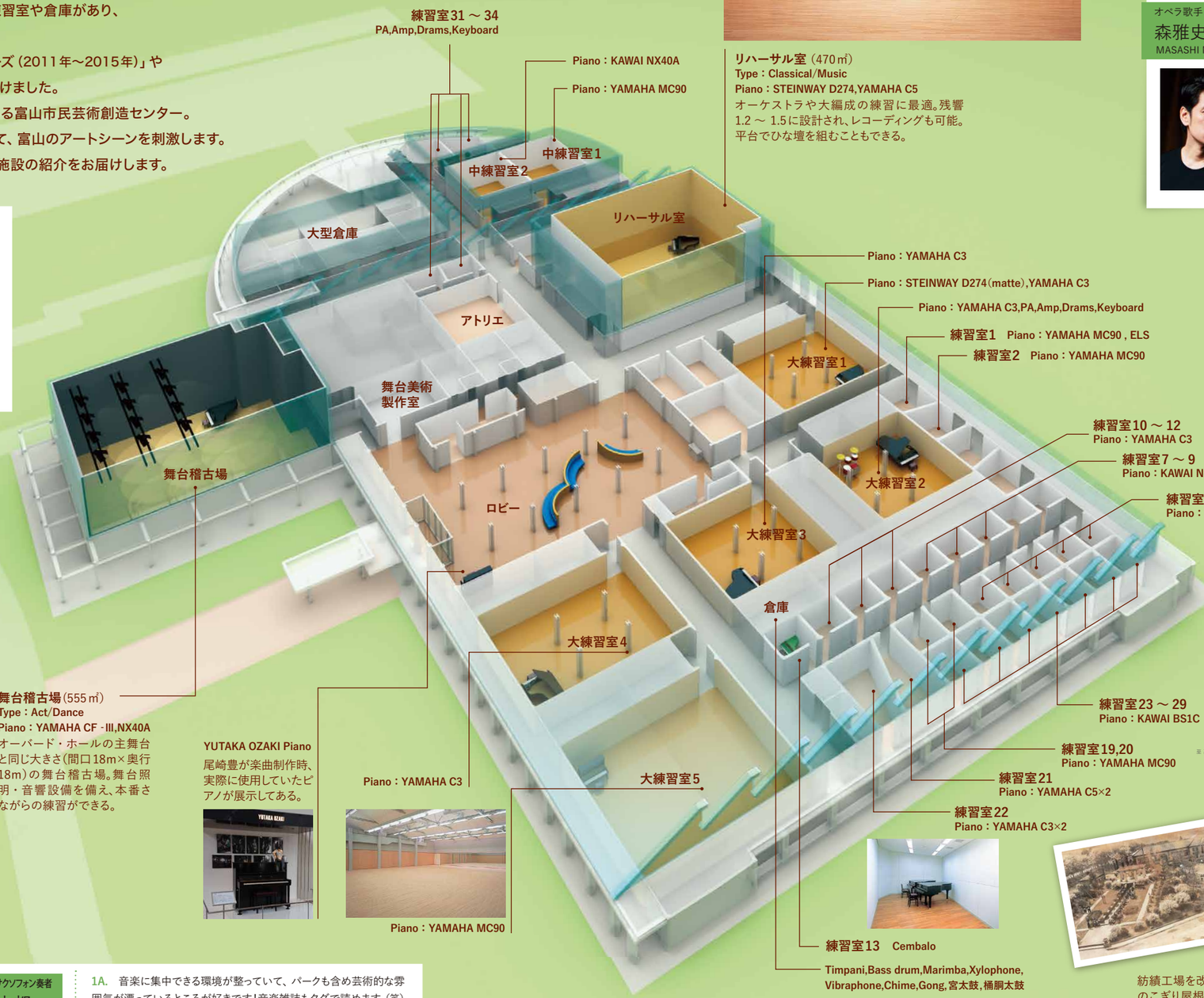
“晴れ舞台”への道はここからはじまる。

富山市民芸術創造センター

かつての紡績工場は、1995年にアートの創作活動の拠点として生まれ変わりました。
工場の面影を残す「のこぎり屋根」の下には、大小合わせて47もの練習室や倉庫があり、
さまざまなジャンルのアートを創造するための環境が整っています。
オーバード・ホールがプロデュースした「名作ミュージカル上演シリーズ（2011年〜2015年）」や
「タニノクロウ×オール富山 シリーズ」もこの場で稽古を重ね、幕をあけました。
優れた舞台機構を持つ発表の場オーバード・ホールと、創作の場である富山市民芸術創造センター。
世界で活躍するアーティストたちも絶賛する2つの施設が両輪となって、富山のアートシーンを刺激します。
第一線で活躍する4名の創造センター loversにお話を聞きながら、施設の紹介をお届けします。

質問

1Q. 創造センターの好きなところ
2Q. 創造センターの魅力だと思うところ
3Q. 創造センターの思い出
4Q. 創作活動をしているみなさんへのメッセージ



リハーサル室（470㎡）
Type：Classical/Music
Piano：STEINWAY D274,YAMAHA C5
オーケストラや大編成の練習に最適。残響1.2 〜 1.5に設計され、レコーディングも可能。平台でひな壇を組むこともできる。

舞台稽古場（555㎡）
Type：Act/Dance
Piano：YAMAHA CF - III,NX40A
オーバード・ホールの主舞台と同じ大きさ（間口18m×奥行18m）の舞台稽古場。舞台照明・音響設備を備え、本番さながらの練習ができる。

YUTAKA OZAKI Piano
尾崎豊が楽曲制作時、実際に使用していたピアノが展示してある。

クレオン（呉音）

ダイニング＆カフェ　クレオン（呉音）

オススメカフェ！

富山市民芸術創造センターに隣接する、木を組み上げた特徴的な建物「呉音」は隈研吾氏設計のレストラン。ストウブを使った料理が人気です。写真右の「旬の白魚のグラタン」は、特集ページ記念の限定メニュー！！

白魚のグラタン（バゲット・サラダ・ドリンク付）1,250円（税込）
※ランチタイム限定、5月末頃まで。
ランチタイム 11:00 〜14:30/カフェタイム 14:30 〜17:00
ディナータイム 17:00 〜21:00（LO.20:00）
TEL. 076-434-5535

俳優
荻野友里
YURI OGINO

1A.　舞台稽古場の調光室から稽古を眺めるのが好きでした。
2A.　高校生が連日22時まで館内で過ごす光景が当たり前で、誰にも作品を創造する時間と場所があり、特に防音がしっかりしているのが恵まれた環境でした。
3A.　すぐに着いてしまう呉羽駅に、名残惜しくてわざわざ庭を回った帰り道。。
4A.　現在、発表の場としても利用できることで、稽古、交流だけでなく世界にも通じる作品がセンターから発信されることを楽しみにしています。

Profile：高岡市出身。有)is、所属。呉羽高校卒業後進学のため東京へ。その後、劇団青年団に入団。舞台、映像と幅広く活動している。

クラシックサクソフォン奏者
角口圭都
KEITO KADOGUCHI

1A.　音楽に集中できる環境が整っていて、パークも含め芸術的な雰囲気が漂っているところが好きです！音楽雑誌もタダで読めます。(笑)
2A.　利用料金、利用時間、芸術の多様なジャンルに対応している設備の充実ぶりですね(^^♪ これほどの施設は全国的にも稀で、富山の誇るべき素晴らしい施設だと思います。
3A.　サックスを始めた小学校3年生から高校卒業までたくさんお世話になりました。受験時代は一日借り切って練習していました。ここで出会い、夢を語り合い、今も一緒に音楽を奏でる仲間がいますし、スタッフの皆様との交流ができたこともとても良い思い出です！
4A.　この環境があることに感謝し、芸術の拠点として様々な文化を共に生み出していきたいですね！

Profile：富山東高校を経て東京芸術大学・大学院を卒業。サクソフォン奏者としてレッスン・雑誌連載・ラジオプレゼンターも務める。
HP:https://keitokadoguchi.jimdofree.com

ボーカリスト
池田智子
TOMOKO IKEDA

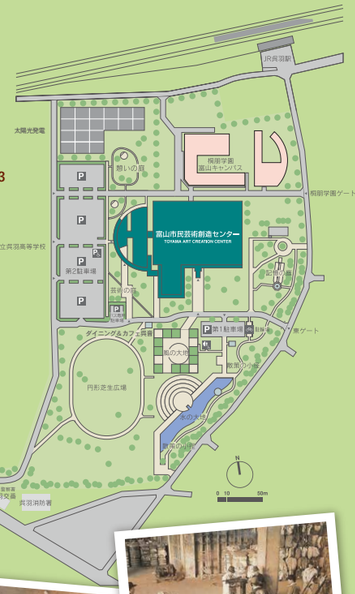
1A.　恵まれた環境で、思いっきり創作活動に打ち込めるところ。
2A.　たくさんの人にとって、芸術を身近なものにしているところ。人生が変わった人も多いと思います。
3A.　中学生の夏休み、朝から夜まで部活動に励んだこと。高校生の頃は、音大受験に向けて放課後夜遅くまで練習室にこもったこと。青春そのものです。
4A.　創作を通して、いつかどこかで交われますように。わたしも精進します！

Profile：富山県出身。2015年「Shiggy Jr.」ボーカルとしてメジャーデビュー。バンド解散後、休止期間を経てソロ活動をスタート。2020年10月に配信限定シングル"walkin'"をリリース。

オペラ歌手
森雅史
MASASHI MORI

1A.　敷地に入った途端に肌で感じるアーティステックな雰囲気が大好きです。
2A.　ミュージカル公演、バンド演奏、ピアノや声楽の練習に利用していましたが、どの分野でも満足の行く設備で、しかも信じられないほど安価で使用出来たこと。県外に出て、その素晴らしさをより実感しました。
3A.　夜間に使用できることがとても助かりました。職員の方々にも受験を応援していただいて、創造センターには青春の大切な思い出がたくさん詰まっています。
4A.　郷土の皆さんが芸術に向き合える場としてはもちろん、富山出身の優秀なアーティストを育む意味でも、今や日本の芸術を地方から支える大変重要な施設だと思います。これからも皆さんに大切にされることを切に祈ります。

Profile：高岡市出身。ボローニャ歌劇場、ドレスデン歌劇場などに出演。2021年4月、ロームミュージックフェスティバル、5月金沢風と緑の楽都音楽祭、7月佐渡裕プロデュース喜歌劇【メリー・ウィドー】に出演予定。名古屋音楽大学准教授。



紡績工場を改修し、芸術全般の創作練習専用施設として平成7年に開館。のこぎり屋根が当時の工場の面影を残す。外壁と骨組みは紡績工場のものを使用しながらも、最高の技術が投入され、音響・防音など徹底的にこだわった。また工場の特徴である北側採光（一日を通して安定的な光量を得られる）の利点は、アトリエなどの創作活動に活かされている。

主催公演情報

6／7 Mon　市民のためのランチタイム
ジョイフル コンサート Vol.77

富山で活躍する音楽家たちによるコンサート。心豊かなランチタイムのひととき。

◆ 出演＝高尾静佳（ソプラノ）、椎名慧（ヴァイオリン）、山森舞乃（ピアノ）
◆ 時間＝11：50 ～ 12：50
◆ 会場＝富山市民プラザ　アンサンブルホール
◆ 入場無料・要事前申込み
◆ 定員＝150名程度（応募多数の場合は抽選）
◆ 申込期間＝5月20日（木）～26日（水）

オーバード・ホールHP内「ジョイフルコンサート」特集ページよりお申込みください。☞

6／12 Sat・13 Sun　ミュージカル「ブロードウェイと銃弾」

巨匠ウディ・アレンの傑作コメディをミュージカル化！

◆ 出演＝城田優、髙木雄也、
橋本さとし、鈴木壮麻、平野綾、
愛加あゆ、保坂知寿、瀬名じゅん ほか
◆ 開演＝6/12（土）12：00 ／17：00
6/13（日）12：00
◆ 会場＝オーバード・ホール
◆ 料金＝［全席指定・税込］
S 席 14,000 円　A 席 9,500 円
B 席　6,000 円

一般発売日：4月17日（土）～

8／16 Mon　AUBADE 小劇場 1
めにみえない みみにしたい

めにみえない生き物を探しに、おんなのこは森の中へ―。
「マームとジプシー」を主宰する演劇作家・藤田貴大が初めて書き下ろした、子どもから大人まで一緒に楽しめる演劇作品。

◆ 作・演出＝藤田貴大
◆ 出演＝伊野香織、川崎ゆり子、
成田亜佑美、長谷川洋子
◆ 開演＝11：30 ／ 15：00
◆ 会場＝オーバード・ホール
舞台上特設シアター
◆ 料金＝［全席自由・整理番号付き・税込］
一般 2,000円　小学生以下 1,000円

会員先行発売：5月22日（土）のみ
一般発売日：5月30日（日）～

© 細野晋司

8／17 Tue・18 Wed　AUBADE 小劇場 2
ヒャクマンベン＋マリコウジ

狂言師三世茂山千之丞 作・演出によるコント公演「ヒャクマンベン」と、新作狂言の会「マリコウジ」。現代へのビシッとした風刺をフワッとした作風で描き出します。

◆ 作・演出＝茂山千之丞
◆ 出演＝茂山千五郎、茂山宗彦、茂山茂、
茂山逸平、茂山千之丞 ほか
◆ 開演＝8/17（火）19：00　8/18（水）14：00
◆ 会場＝オーバード・ホール 舞台上特設シアター
◆ 料金＝［全席自由・整理番号付き・税込］
一般 4,000 円　U-25 1,000 円

会員先行発売：5月22日（土）のみ
一般発売日：5月30日（日）～

U-25：25歳以下対象の入場券。公演当日、入場の際に身分証の提示が必要です。　※年齢による入場制限については、各公演で異なります。

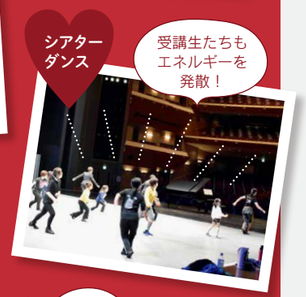
※情報は2021年3月31日現在のものです。新型コロナウイルス感染対策を徹底して上演します。感染状況によっては公演の開催に変更が生じる場合がございます。
ご来場前にはオーバード・ホール公式HPで最新情報をご確認いただきますようお願いします。

Report ｜レポート

帰ってきた WE♥MUSICAL（ウィ ラブ ミュージカル）

2021.3.13（土）14（日）

2012年から毎年開催されてきたミュージカルワークショップ「WE♡MUSICAL」。コロナ襲来と共に中止を余儀なくされ、エンターテインメントが止まってしまった一年前。しかし、市民によるパフォーミングアーツの灯は消えていません。一年間の沈黙を破り、感染症対策万全のオーバード・ホールで見事復活！豪華な講師陣も、多くの受講生も帰ってきて、贅沢なワークショップを盛り上げました。



今年度もミュージカルワークショップ企画を予定しています。どうぞご期待ください！

AUBADE HALL calendar 2021.4~7

4	14（水）	氷川きよし（振替公演）【問】サンライズプロモーション北陸：025-246-3939
	16（金）	ゴールデンボンバー全国ツアー「楽器を弾いたらサヨウナラ」【問】キョードー北陸チケットセンター：025-245-5100
	17（土）	Hello!Project 2021春「花鳥風月」【問】キョードー北陸チケットセンター：025-245-5100
	24（土）	桐朋アカデミー･オーケストラ　第62回 定期演奏会【問】桐朋学園音楽部門富山キャンパス事務部教学課：076-434-6800（アスネット）
	25（日）	30th Anniversary 葉加瀬太郎オーケストラコンサート2020 ～ Symphonic Session ～（振替公演）【問】エンタメスタイル：076-256-5538
	28（水）	井上芳雄 BY MYSELF SPECIAL LIVE【問】エンタメスタイル：076-256-5538（アスネット）
	29（木･祝）	藤井フミヤ FUMIYA FUJII CONCERT TOUR 2020-2021 ACTION【問】キョードー北陸チケットセンター：025-245-5100
5	1（土）	第44回富山県立富山南高等学校吹奏楽部定期演奏会【問】富山県立富山南高等学校：076-429-1822（アスネット）
	16（日）	爆笑お笑いフェスin富山【問】サウンドソニック：076-291-7800
	29（土）	弧の会×若獅子会【問】富山市民文化事業団 総務企画課：076-445-5610（アスネット）
6	5（土）	桐朋アカデミー･オーケストラ　第63回 定期演奏会【問】桐朋学園音楽部門富山キャンパス事務部教学課：076-434-6800（アスネット）
	12（土）･13（日）	ミュージカル「ブロードウェイと銃弾」【問】北日本新聞社事業部：076-445-3355（アスネット）
	19（土）･20（日）	富山県立富山商業高等学校吹奏楽部第64回定期演奏会【問】富山県立富山商業高等学校：076-441-3438
7	10（土）	いきいき友の会「第30回講演と演芸のつどい」【問】（福）富山県社会福祉協議会いきいき長寿センター：076-432-6010
	16（金）	さだまさし さだ丼～新自分風土記Ⅲ～さだまさしコンサートツアー 2021【問】キョードー北陸チケットセンター：025-245-5100

（アスネット）…アスネットチケット取扱い。

チケット購入方法　アスネットカウンターでお買い求めください。

インターネット
アスネットオンラインチケット
www.aubade.or.jp　24 時間予約可能
※ご利用の際には会員登録が必要です。

電話予約
窓口販売
アスネットカウンター（オーバード･ホール1F）
TEL. 076 - 445 - 5511
10：00 ～ 18：00
定休日：月曜（月曜が祝日の場合、翌平日休み）

オーバード・ホール会員システム「アスネット」

お得に楽しくシアターライフを満喫するためのオーバード・ホール会員システム。
ご登録いただくと、インターネットで 24 時間チケットのご予約が可能です。
「アスネット」には、「アスネット会員」「メール会員」2 種類の会員システムがあります。

アスネット会員（年会費：1,800円）　※特典1、2については1公演につき通常4枚まで。対象外の公演もございます。

- 特典1　公演チケットの先行販売
- 特典2　公演チケットの割引販売 10%OFF
- 特典3　Mite Mite や公演情報の送付

メール会員（年会費：無料）

- 特典1　公演情報のメルマガ配信

入会方法

- インターネットからお申込（オーバード･ホール HPより）
- アスネットカウンター窓口でのお申込（オーバード･ホール 1F）

Mite Mite アンケートご協力のお願い

より良い情報誌を作るために、皆様の率直なご意見をお聞かせください！ 良いご意見があれば、ぜひ今後の「Mite Mite」で採用していきたいと考えています。一緒に誌面を盛り上げていきませんか？

回答期間：2021年4月14日（水）～5月31日（月）
回答はこちらから ☞

交通のご案内
鉄道利用：富山駅下車、北口正面から徒歩2分
航空利用：富山空港よりタクシーで約25分、バスで富山駅まで約30分
お車利用：北陸自動車道 富山I.C.出口から約20分

オーバード・ホール（富山市芸術文化ホール）
〒930-0858 富山県富山市牛島町9-28
TEL.076-445-5620

オーバード・ホール公式SNSでは、主催公演などの最新情報を随時アップしています。公演の舞台裏など、普段は見られない写真も盛りだくさん！ぜひフォロー&いいね！してください♪

http://www.aubade.or.jp
オーバード・ホール
最新情報はHP をご覧ください

ミテミテ68- 2021.spring号　発行日：2021年4月12日　発行所：公益財団法人 富山市民文化事業団 TEL.076-445-5610　企画･編集：Mite Mite編集室　Design：CROSS　Cover Photo：Gaku Imadera

ポルトの塩味の魅惑

三十代後半からのスペイン熱が下敷きになって、近年はポルトガルによく行った。ヨーロッパの西の端で、アフリカが近い。私には「世界の果て」のひとつである。何が引きつけるのか。ずばり、活気と停滞感が交錯するなかに安価な「豊かさ」がある。一番楽しみにしているのは、安い食堂の、独特に塩味のきいた食べ物だ。

ポルトガル北部の大きな都市、ポルト。ポートワインの「ポート」はこのポルトである。一面では首都リスボン以上に国際的な、しゃれた雰囲気がある。あまり簡単に言うと叱られそうだが、歩いていて、ふとスペインのバルセロナにいるような錯覚に陥ったことがある。一方、昔ながらの下町の名残りも、料理の魅惑とともにしっかりとある。おいしいもの、いろいろあるけど、ポルト名物はトリパス。一種のモツ煮込みだが、これはそんなに塩味がきいてない、やさしい味。塩味が活きるのは、まず、ポルトガルならどこでものタラ。とくに北で逃せないのはタコ料理だ。

ある夜、ポルトの小さな劇場で一人芝居を見た。簡単に移動できるスチール棚を組み合わせただけの装置のなかに、ダンサー姿で厚化粧のゲイの男が登場した。舞台は、実はスーパーマーケット。男は歌いながら買い物する。買い物しながら母親や恋人など四人の相手と携帯で話をして、相手が変わるたびに変化を見せる。後半には哲学的な自問自答にも及んだ。ダンサーだからニジンスキーやオーノ・カズオの名前も出てきたが、美や芸術に酔うより先に現実と出会っている。

自作自演しているのは、ジュニオール・サンパイオというブラジル出身の人。題は『ダンサー、買い物に行く』で、この「ダンサー」はポルトガル語ではBailarina、女性形だ。一人芝居、その孤独の内側に何人もの人間がいる。ひとりの存在のなかに世界中の悲鳴が呼び込まれている。そんな気さえした。

芝居を見たあと、ワインを飲み、塩味十分のタコごはんを食べた。ゴツゴツした体のジュニオール・サンパイオ、彼の演技にも塩味がきいていたといま思う。

文：福間健二

福間健二 Kenji Fukuma：
詩人・映画監督、首都大学東京名誉教授。1949年、新潟県生まれ。詩集に『侵入し、通過していく』、『青い家』（萩原朔太郎賞と藤村記念歴程賞をダブル受賞）など。その他の著書に『詩は生きている』、『佐藤泰志 そこに彼はいた』など。映画監督作に『あるいは佐々木ユキ』、『秋の理由』など。2020年には映画『パラダイス・ロスト』と詩集『休息のとり方』。